

第13回「日本語大賞」

テーマ「 」に伝えたい言葉

中学生の部 優秀賞 受賞作品

私の母

大阪府
大阪教育大学附属池田中学校
三年 岸 美優花

特定非営利活動法人 日本語検定委員会

『かっこいい』

あなたはこの言葉を誰に伝えたいだろうか。テレビの画面の向こう側にいる芸能人、人間とは思えないくらいの高い身体能力を身につけているスポーツ選手、物語やアニメ、マンガの中に生きる登場人物など、人によって思い浮かべる人物は様々だろう。しかし、私はこの言葉を「母」に伝えたい。

私の両親は共働きである。また、私の母は平日は毎日会社に行って仕事をして、夜遅くに帰ってくる。母が仕事をしている姿を直接見たことはないが、きつと毎日が忙しくて大変で、私には出来るはずもない量の仕事をこなしていることだろう。そんな母は私にとって一番の憧れの存在である。今までを振り返ると、私の人生は母に支えてもらったと言っても過言ではない。

私がまだ小学校へ入学する前の幼かった時、私はとても体調を崩しやすく、深夜に熱を出すことが多かった。幼い頃の話のためはつきりとした記憶はないが、母は仕事を終えて疲れ果てているのにも関わらず、熱を出した時は私の体を冷やしてくれたり、夜遅い時間なのに救急病院に連れて行ってくれたこと、そして何より、私のそばにずっといてくれたことが、心の底から嬉しかったのを覚えている。また、平日は一緒に居ることができない分、休みの日は私たち家族のご飯を作ってくれたり、私の習い事の送り迎えを毎回欠かさずしてくれるなど、私のために時間を使ってくれている。私が母だったら、休みの日くらいテレビを見たりショッピングに行くなど、自分のために時間を使いたいと思うが、私を第一に考えてくれる母は、私の人生になくてはならない大切な存在だ。

近年の日本では、夫婦で共働きをしている世帯が年々、増加傾向にある。そのため、両親が勤めに出ていて、学校から帰っても家に家族が残っていない環境で生きる「鍵っ子」が年々増えており、両親が仕事で忙しくて親からの愛情を受けないまま成長する子供も増えている。共働きには「夫と妻、2人分の収入を得ることができる」「女性もキャリアを中断せずに積み重ねていくことができる」といった多くのメリットが存在するが、朝しか顔を合わせられないことや、落ち着いた会話をする時間が取れなくなってしまうといったデメリットも多い。このように、共働きをしながら家事・育児・仕事の両立をするのは決して簡単なことではない。しかし、私の母は仕事を完璧にこなしながら、私を大切に育ててくれている。そんな母は私にとって一番の憧れの存在であり、感謝してもしきれない。

ある日、母は私にふとこんな事を聞いた。

「お母さんのことどう思う？」

その時の私はあまり素直になれず、適当な返事しかできなかった。でも今、私は母に自信を持って伝えたい。

「世界一『かっこいい』お母さんだよ」と。そして、いつかは私も母のように、幸せな家庭を築きながら、社会の一員となって世界で活躍する『かっこいい』お母さんになりたい。

今日も母は、朝私よりも早く家を出る。いつも何気なく見ている母の姿だが、今日はなんだか、いつも以上に大きく見えた。